取扱説明書 当説明書をお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 警 告

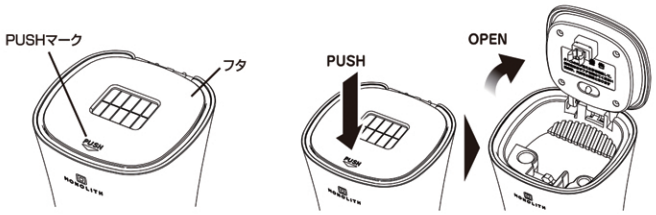
●本製品は防水加工をしておりません。水洗いは避けてください。特に電池ユニット内部に水分が入りますと故障の原因となります。
●灰皿をご使用にならない時は、必ずフタを完全に閉じてください。開放したままですと火災の原因となります。降車の際、お車を離れる前に灰皿内の吸い殻が消火されているか必ずご確認ください。
●タバコは必ず消火した後にボトル内部に捨ててください。消火されないうちに捨てるとボトル部が熱くなったり火災の原因となります。また、火消し穴が灰で埋まっている時はご使用をおやめください。
●定期的に灰皿を点検し、本体の変形やフタの閉まりが悪いなどの異常がある場合はご使用をおやめください。
●火消し穴は常に詰まらないよう清掃してください。
●走行中の運転者による本製品のご使用は大変危険ですのでおやめください。
●紙くずなど、吸い殻以外のものを入れないでください。火災の原因となります。
●ボトル内部の吸い殻は満杯になるまでためないでください。
●布製のポケットなどに入れて使用しないでください。
●本製品の設置が困難な場所または本製品を設置すると運転の妨げになる場合はご使用をおやめください。
●設置場所が運転操作やシフトレバー、ウィンカーレバー、サテライトスイッチなどの操作に支障をきたさない場所か、エアバッグ作動時に影響がない場所か確認してください。
※窓ガラスがスモークガラスまたはスモークフィルムを貼ってある場所でのご使用は、充電効果が低下しますのでおやめください。また熱線吸収ガラス装着車も充電効率が大きく低下する場合があります。
●本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障破損の原因になります。

ソーラー充電について

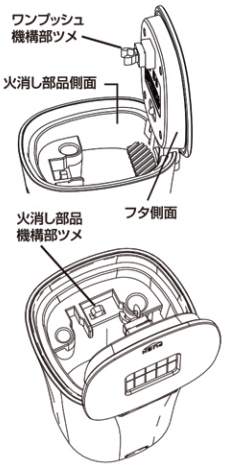
■最初の使用前に、晴天の太陽光による充電を5時間以上行ってください。
■使用しない時は、フタを閉じ太陽光を当てて自然充電を行ってください。
※ソーラー充電の特性上、高温下や低温下では充電効率が低下しますので、状況によっては充電時間を多く必要とする場合があります。
また、天候や保管場所によっては充電不足になり電池容量が空のまま長期間無充電状態が続くと充電できなくなる恐れがあります。
■内蔵蓄電池は消耗品です。充電してもLEDが点灯しない場合は寿命とお考えください。蓄電池の寿命は当社規定に基づく実使用換算値で約1年です。
※実際の使用状況（気象・保管場所など）により蓄電池の寿命は異なります。また、電池の交換はできませんので、予めご了承ください。

使用方法

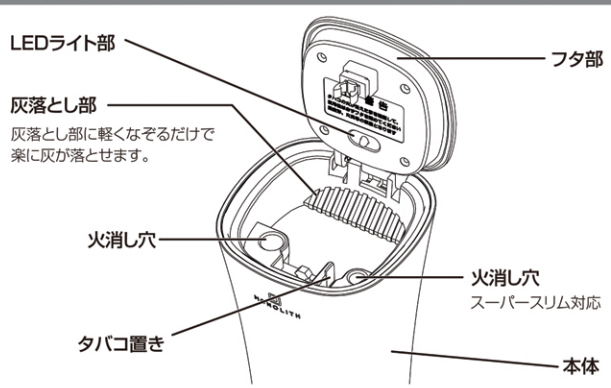
●本体をドリンクホルダーなどに固定してご使用ください。
●フタを開く時は、フタの「PUSH」マーク部分を上から押してください。ワンタッチでフタが開きます。
※ワンプッシュ機構フタは気温や経過時間によってフタが開きにくくなる場合があります。
※フタがワンプッシュで開きにくい場合は、ワンプッシュ機構部のツメを少し広げると解消されます。
※フタは勢いよく開きますので、片方の手をボトルに添えてフタの「PUSH」マーク部分を押してください。



●約90°まで開くとフタが止まります。
※フタは90°以上は開きません。無理な力を加えないでください。
●タバコを置くときは、先端の火種がフタ内側に接触しないようにして、しっかりとタバコ置きに固定してください。（走行中は落下する恐れがありますので、タバコを置かないでください。）
●タバコの火を消す場合は、先端の余分な灰を落としてから、タバコ先端を火消し穴に差込んでください。10秒以上差込んで火種が消えた事を確認し、ボトル内部に捨てて必ずフタを閉めてください。また、タバコの太さにより火消し穴が機能しない場合がありますのでご注意ください。
●フタを閉じるとLEDが消灯します。
●背面のヒンジ部に灰などの汚れが付着するとフタの開閉が悪くなる場合や、LEDが点灯しなくなる場合があります。その際はヒンジ部の汚れを取除いてから使用してください。
●火消し部品側面・フタ側面・火消し部品機構部のツメ周辺に灰が溜まりますと開閉に影響が出る場合があります。灰が溜まった場合は適度に清掃をしてください。また、火消し部品機構部のツメ周辺がタバコの熱により変形し開閉に影響が出る場合があります。火種が接触しないようご注意ください。
●お車から離れる際は、ボトル内部のタバコの火が消えているか確認して、必ずフタを閉めてください。
※ご使用にならない時は、必ずフタを閉めてください。

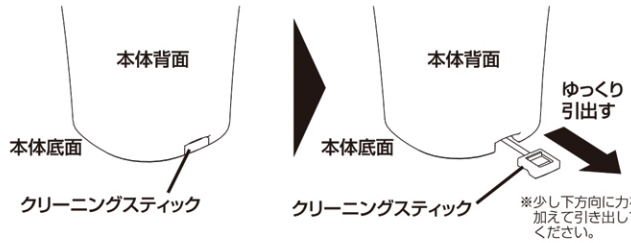


各部名称



お手入れ方法

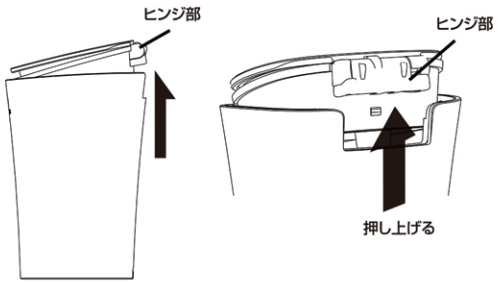
●クリーニングスティックを使用する場合は、本体の底面にあるクリーニングスティックをゆっくりと引出して、火消し穴の目詰まりや灰落とし部などの細かな灰を落としてください。
※ご使用の際は、必要以上に力を加えるとクリーニングスティックの破損の原因となりますのでご注意ください。



灰の捨て方

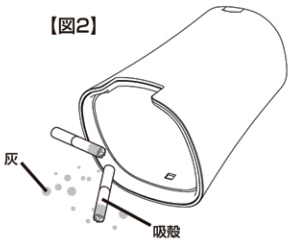
●本体のフタを閉じたまま作業してください。
●ヒンジ部分を下から押し上げるとフタ部（火消し部品）が取外せます。【図1】

【図1】



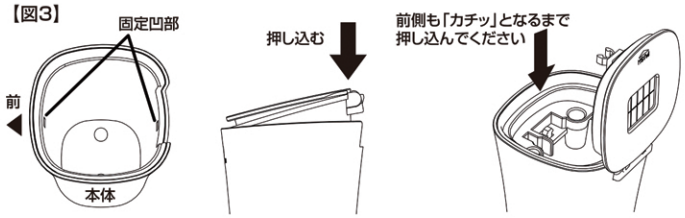
●本体を逆さにして、中の吸殻と灰を捨ててください。【図2】
※安全のため吸殻は確実に消火してください。
※ボトル内部が満杯になるまで吸殻をためて使用しないでください。灰捨ての際、捨てにくかったり、手が汚れる場合があります。

【図2】



●フタ部を取付ける際は、フタの向きを合わせ、前後の固定凹凸部が「カチッ」となるまで上から押込んでください。【図3】

【図3】



⚠ 必ずお読みください

●灰皿の用途以外には使用しないでください。
●ボトル部に水を入れて使用しないでください。
●走行前には必ず本体が水平にしっかり固定されていることを確認してからご使用ください。不安定な状態での使用は脱落などによる事故・破損の原因となります。
●長時間 LED を点灯し続けると、充電池残量および性能が著しく低下し、再充電ができなくなる場合があります。
●充電池の残量が少なくなると、LED の光が弱くなります。そのような場合はフタを閉めて太陽光に当てて充電してください。
●落としたり叩いたり強いショックを与えないでください。
●火消し穴が目詰まりしているときは消火機能が低下しておりますので使用しないでください。また目詰まりしてしまった時は「お手入れ方法」を参照して早めに目詰まりを解消してください。
●タバコ置きに火のついたタバコを置くとタバコ置き周辺に熱が伝わりますので触れないようにしてください。また、タバコ置きに火のついたタバコを長時間放置すると、熱によりタバコ置き周辺が変形する恐れがあります。
●故意に LED 部分などのフタ内側にタバコの火を近づけないでください。熱による変形が生じる恐れがあります。
●ベンジン・シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
●異常を発見した場合は直ちに使用を中止し、当社お客様相談センターにお問い合わせください。
●上記の警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用、分解・改造（ご購入後の塗装やデコレーションなどを含む）をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。
●万一、商品に品質不良があった場合の保証は、現品の交換のみとさせて頂きます。なお、現品が無い場合は保証の対象となりませんので予めご了承ください。
●本パッケージ・取扱い説明書に記載されている警告・注意などを守らない場合や誤った取付け・ご使用などをされた際の事故・故障・破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いませんので予めご了承ください。